



住民と市議会議員とのフリートーキングを開催する!!

8月7日（金）、住民と大更選出市議会議員、合わせて44名の出席のもと、大更地域の活性化について話し合いました。住民から課題提起された内容をご紹介します。なお、質疑応答内容は適宜、要約しており、要望事項は一括して取りまとめました。ご了承ください。

なお、質問者は10名、質問数は22項目でありました。

<凡例> (住) 住民の課題提起、(議) 議員対応

(市) 市職員コメント

※8 テラスについて

(住) ① 8テラスの指定管理者は総合サービス企業の「シダックス大新東ヒューマンサービス(株)」他、であるとのことだが、市職員は常駐するのか。

② 3階の市立図書館の館長は、どのような方が務めるのか。

(議A) ①について、全館を指定管理者が管理する制度を取り入れており、市職員は現場には常駐しないとのことである。担当課は商工観光課になる。但し、1階の移住定住センターには、市のコーディネーター3名が交代で常駐する予定とのことである。

(議B) ②について、指定管理者の職員が館長を務める予定である。

※市立図書館の構想と旧図書館の活用について

(住) ① 市立図書館について、教育長はどのような構想を持っているのか。

② 旧市立図書館の活用や、市内に書店がないことから、新刊書や古本を販売する場についてはどう考えるか。

(議A) ①について、教育長は、図書館運営協議会の意見を聞きながら、今後の運営構想を練っていくと思う。旧図書館の活用は今後の課題。古本市など、古本を活用・販売する場ができればよいと考えている。

(議B) ②について、旧図書館の活用については複合施設として活用できればと考えている。

(議C) ①と②について、就任したばかりの教育長は、ユーチューブなどで自身の考えを発信しているので、是非とも閲覧してほしい。市立図書館は、様々な分野の図書がそろい充実しており、今後の運営に期待している。

※大更小の通学環境と少子高齢化について

(住) ① 大更小学校の歩道整備について、子どもの安全確保を求める。

② スクールバスについて、通学距離4km以上という利用基準を、状況に応じて柔軟に対応できないか。

③ 少子高齢化が進む中、子どもを増やす施策や、若い人が転出しない施策が必要であると思う。

(議A) ①について、歩道整備については、市から毎年県へ要望しているが、県の財政状況などから実現は不透明。市が交付金を活用して独自に整備する方法もあるが、市の財政状況も厳しい状況だ。

(議B) ①について、市長から知事へ現地の危険な状況を直接伝えている。今後も引き続き要望すべきと考えている。

②について、近年の通学環境を取り巻く状況も変化しているため、スクールバスの利用基準について教育委員会へ見直しを提言したい。

③について、将来的に行政サービスの維持が難しくなることが懸念される。市独自の解決策が必要であると考えている。

(議C) ③について、若者の定住に必要な住居整備などに十分な予算を充てられていない現状がある。子育て世代が市外へ転出しないための施策について市当局と議論していきたい。



※通学路の安全、保育所の統合、平館高校について

(住) ① 大更小学校の通学路である夏間木踏切前の安全対策について。

② 柏台保育所と松尾保育所の統合白紙の理由はなぜか。

③ 将来、平館高校の閉校について危惧している。市内の高校として存続を求める。

(議A) ①について、夏間木踏切前の安全対策について、市と一体になって知事に要望していきたい。

(議B) ②について、急な方針だったことから、保護者の理解を得られず、十分な説明を求める声があった。保育だけでなく、働く保護者の立場も考え、声を聞くことが必要であると考え。今後の方針は未定だが、丁寧な説明が必要だと考える。

③について、平館高校は、県の募集停止の基準に該当する状況。県外からの生徒募集も行っている。今後、地元からも選ばれる高校にするにはどうすればよいかを考えていく必要があると考えている。

※子育て世代の定住について

(住) 子育て世代の市外転出を防ぐための施策や、盛岡市方面への通学費補助について、どのように考えているか。

(議) 8テラスに移住定住センターを開設するなど、子育て世代の定住に力を入れているが、予算の制約から宅地整備などが十分に進められていない。通学費については、高校生等の保護者を対象に通学定期券購入額の10%補助しており、平館高校の生徒には20%補助しているのが現状である。

※公共交通と平館高校の魅力づくりについて

(住) ① コミュニティバスの運行について、乗合タクシーを活用するなど、より効率的な運行方法を検討してはどうか。

② 平館高校の生徒を増やすため、八幡平市らしさや地域の魅力を生かした学校づくりをしてほしい。

(市) ①について、松尾地区では「よぶきた八幡平」という運行形態を取り入れている。西根地区でも、これに類似した仕組みを実施できないか検討していきたい。今後、タクシー会社とも調整しながら、バスとタクシーを一体的に捉えた運行について検討していきたい。

(議) ②について、選ばれる高校には、学校だけでなく地域そのものの魅力が重要。そのためには、地域全体で平館高校の生徒を温かく見守っていく必要があると考えている。

※観光振興、農業所得について

(住) ① 八幡平市は通過型観光地となっている現状を、どのように解消していくのか。

② 農業従事者の所得が最低賃金を下回る状況について、所得を向上させるにはどうすればよいと考えるか。

(議A) ②について、農家の所得向上に向け、地産地消を推進する必要があると考えている。

(議B) ①について、宿泊施設を素泊まり可能など、利用しやすくすることで、アウトドアを楽しむ人を呼び込めるのではないかと既存施設を有効活用できるよう提案していきたい。

②について、地域と一体となった農業政策が必要だと考えている。

※空き家・空き地対策について

(住) 不在地主の土地が荒れているケースについて、クマの出没や火災などの危険もあるため、環境整備を行政で行えないか。

(市) 個人の土地については、行政が介入する権限がなく対応は難しい。但し、家屋の倒壊など、著しく危険な状態の場合は行政代執行が可能である。

(議) 市への要望として申し入れていく。

※AIの活用について

(住) 魅力ある八幡平市をつくるため、AIを積極的に活用してはどうか。

(議) AIは行政に必要なものと考えており、AIが担える分野はAIに任せ、我々は人間にしかできないことに注力していきたい。

※以下は市への要望事項

① 市管理の「森の湯」、「なかやま温泉館」、「綿帽子温泉館あずみの湯」では、65歳以上を対象とした利用補助がある。西根地区にも同様の温泉施設があるとよい。民間施設では難しいかもしれないが、例えば、「おらほの温泉」利用に割引制度を導入する等、検討していただきたい。

② 八幡平市にはインターチェンジが3つあるという強みを活かし、市の魅力を広く発信して若い世代の移住・定住につなげていただきたい。このことは、単なる助成金や宅地造成にとどまらず、地域全体に広がりのあるまちづくりを進めてほしいからである。

③ 地域活性化には、行政だけでなく個人や集落の努力が重要である。各集落の良いところを再発見し、住民一人ひとりが先頭に立って地域づくりに取り組むことが大切である。

④ 駅前の和式トイレについて。高齢者には利用が困難であるため、洋式化などの整備を進めてほしい。

⑤ 西根中学校周辺、及び市道大更西線沿いの山林にクマが出没しそうな環境にあり危険であるため、早急な対応を求める。



行事等予定表



月 日	内 容	時 間・場 所
8月26日(水)	三役会(第3回目)	17:00～大更コミセン(中)
8月29日(土)	大更地区大運動会会場準備	8:00～運動公園多目的運動場
8月30日(日)	大更地区大運動会	7:30～大更地内
9月 4日(金)	市民講座「フレンチ料理教室」	9:00～大更コミセン(調理室)
9月 9日(水)	大更婦人学級第3回講座・市民講座合同開催 「3色パステルアート」	10:00～大更コミセン(大)
9月16日(水)	大更コミセンまつり・花火大会第1回実行委員会	18:00～大更コミセン(大)
9月18日(金)	大更ふれあい大学第4回講座「グラウンド・ゴルフ」	8:30～松尾地区総合運動公園

9月の休館日：6日(日)、20日(日)、21日(月・敬老の日)、22日(火・国民の休日)、23日(水・秋分の日)